

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	クールルーフ推進小委員会		主 査 名：近藤靖史 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：村上公哉
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・都市ヒートアイランド対策としての屋上緑化，高反射率塗料，保水性建材などの対策技術の適切な選択に関する議論を行う。(2011 年度)</p> <p>・シンポジウムなどにより都市ヒートアイランド対策としての屋上緑化，高反射率塗料，保水性建材などの対策技術の適切な選択に関する議論を行い，建築学会としての方向性を示す。(2012 年度)</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 近藤靖史 (東京都市大学)，赤川宏幸 (大林組)，伊藤大輔 (ものづくり大学)，梅田和彦 (大成建設)，酒井孝司 (明治大学)，竹林英樹 (神戸大学)，西岡真稔 (大阪市立大学)，橋田祥子 (明星大学)，藤本哲夫 (建材試験センター)，松尾陽 (東京大学)，三坂育正 (竹中工務店)，村田泰孝 (崇城大学)，森山正和 (摂南大学)，吉田篤正 (大阪府立大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	クールルーフ適正利用ガイドライン検討 WG：一般人にも判りやすく，クールルーフ化すべきかどうかを判断できるためのガイドラインを整備する。		
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kankyo/s22/	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む) (クールルーフ適正利用ガイドライン検討 WG は 5 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. クールルーフ適正利用ガイドライン検討 WG の活動により，クールルーフ適正利用ガイドライン案を作成し，小委員会において議論した。 2. ガイドライン案の公表を主な目的として，次年度のシンポジウムの計画について検討を行った。
委員会活動の問題点・課題	クールルーフ適正利用ガイドライン検討 WG の活動を優先したため，小委員会の開催が少なくなった。